

## ②補助対象路線の状況

市内を通過・循環している路線バスのうち、那覇市へ向かう路線バスのうち、那覇市へ向かう路線は採算性が確保されているものの、南部循環線、新里線、玉泉洞糸満線の3路線は不採択となっています。

糸満市では、補助金を拠出し、糸満市の公共交通網を維持している状況です。平成30年10月には、市内公共交通網を一部再編し、補助対象路線だった国吉線を廃止し、運行頻度を下げデマンドバス車両（10人乗り）を使った代替運行を実施しています。

系統番号	路線	運行会社	主な経由地	行き先
107	南部循環線 (真壁廻り)	琉球バス交通	高嶺入口・真壁・米須 ・喜屋武	糸満バスターミナル
108	南部循環線 (喜屋武廻り)		喜屋武・米須・真壁 ・高嶺入口	
36	糸満～新里線	沖縄バス	与座・志多伯入口・東風平・稲嶺 十字路・仲程・大里入口・与那 原・馬天・新里	親田原出張所
82	玉泉洞糸満線	琉球バス交通	名城・姫百合の塔前・向陽高校前	玉泉洞

## ②補助対象路線の状況

市内を通過・循環している路線バスのうち、那覇市へ向かう路線バスのうち、那覇市へ向かう路線は採算性が確保されているものの、南部循環線、新里線、玉泉洞糸満線の3路線は不採択となっています。

糸満市では、補助金を拠出し、糸満市の公共交通網を維持している状況です。平成30年10月には、市内公共交通網を一部再編し、補助対象路線だった国吉線を廃止し、運行頻度を下げデマンドバス車両（10人乗り）を使った代替運行を実施しています。

広域路線については、「地域間幹線系統確保維持費国庫補助金」及び「沖縄県生活バス路線確保対策補助金」の補助を活用し、引き続き運行を維持できるよう、サービス水準を確保するとともに、沿線市町村、沖縄県及びバス事業者と連携し、利用促進に向けた取り組みを行う。

また、デマンドバス（いとちゃんmini）については、「地域公共交通確保維持改善事業費補助金（地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金）」を活用し、財源を安定的に確保し、持続的な運行に取り組む。

## ■地域公共交通確保維持改善事業（フィーダー補助）の位置づけ・役割

役割	幹線バス・支線バスが運行されていない、公共交通空白地域を補完するとともに、高齢者・障がい者等の交通弱者の買い物や通院手段等として利用されているが、系統の維持が難しく、地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金により運行を確保・維持する必要がある。
維持・確保策	事業者と連携し路線バスとの接続を確保しながら、地域公共交通確保維持改善事業（フィーダー補助）を活用し、持続可能な運行を行う。
必要性	市内の公共交通は、民間の路線バスが複数あるが、その多くが交通結節点である糸満ロータリーより北側に集中、高齢化が進む交通弱者が多い南東側には公共交通の空白地帯があり、住民生活に支障をきたしている。 住民の生活交通手段を確保するため、公共交通空白地帯等の解消、公共交通体系の維持・確保を行うためには、市の財政負担だけでは路線の維持が難しく、地域公共交通確保維持改善事業（フィーダー補助）の活用により、生活交通手段の確保・維持を存続させていく必要がある。

系統番号	路線	運行会社	主な経由地	行き先
107	南部循環線 (真壁廻り)	琉球バス交通	高嶺入口・真壁・米須 ・喜屋武・糸満市役所前・潮平・ 道の駅いとまん前	糸満バスターミナル
108	南部循環線 (喜屋武廻り)		道の駅いとまん前・潮平・糸満市 役所前・喜屋武・米須・真壁 ・高嶺入口	
36	糸満～新里線	沖縄バス	与座・志多伯入口・東風平・稲嶺 十字路・仲程・大里入口・与那 原・馬天・新里	親田原出張所 南城市役所
82	玉泉洞糸満線	琉球バス交通	名城・姫百合の塔前・向陽高校前	玉泉洞